



毎月第1・第3日曜日発行
広報みたかはシルバー人材センターの会員がお届けしています。

発行:三鷹市/編集:秘書広報課
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1
法人番号:8000020132047

市役所代表電話
☎0422-45-1151(代)

ホームページ
(パソコン・スマートフォン用)
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/

携帯サイト
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/i/



今号の紙面から

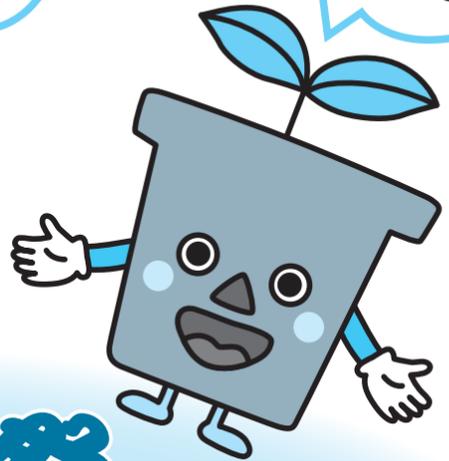
- 11月は児童虐待防止推進月間です…2面
- 11月9日(水)~15日(火)は
秋の火災予防運動…2面
- 人事行政に関する状況の公表…4・5面
- 市からのお知らせ…11面から
- 第25回三鷹市民駅伝大会…12面

地元で採れたての

新鮮でおいしい
ぼくたちが

勢ぞろいする
お得な2日間!

みなさん
来てくださいね!



第56回 三鷹市農業祭

11月12日(土)・13日(日)
午前9時~午後5時(13日は3時まで)

※イベントにより開催時間が異なります
(雨天時一部変更)。自家用車での来場
はご遠慮ください。

所 市役所中庭ほか 申 期間中会場へ

問 JA東京むさし三鷹支店 ☎46-2152、市生活経済課 ☎内線3063

農畜産物の品評会と即売

市内農業者が育てた野菜や果物、卵などの出来栄を競います。出品された農畜産物は品評会終了後に、特価で販売します。

◆一般公開

12日午後2時~5時、13日午前9時~正午

◆展示品即売

13日午後1時から(無くなり次第終了)

花き庭園樹の品評会と予約販売

市内農業者が丹精込めて育てた鉢花や庭木などの品評会です。出品作は、展示期間中に予約販売を行います。

◆一般公開・予約販売

12日午後1時~5時(庭園樹は4時まで)、13日午前9時~午後2時(予約品の引き渡しは13日午後2時~2時30分)

そのほかのイベントも盛りだくさん!

- ◆市民農園・家庭菜園品評会 出品者は12日午前7時~8時に会場へ
- ◆野菜の珍品・奇品コーナー 出品者は11日(金)までにJA東京むさし三鷹支店 ☎46-2152へ
- ◆JA東京むさし三鷹地区青壮年部模擬店(三鷹産野菜100%の「ムーちゃんコロック」「ムーちゃんぎょうざ」)
- ◆三鷹商工会模擬店(TAKA-1認定商品、たこ焼きなど)
- ◆三鷹市薬剤師会の薬の相談会 13日午前9時~午後1時
- ◆三鷹市動物祭 13日午前9時~正午
- ◆消防はしご車体験 13日午前10時~正午
- ◆そのほかの催し 三鷹特産物直売、長野・新潟・福島・宮城県特産物直売、JA東京むさし三鷹地区女性部日用品バザー・趣味展、一小ジュニアバンド演奏、六中吹奏楽部演奏、学校農園パネル展示、井の頭鼓響による和太鼓、演芸大会、ふれあい広場(お子さん向けコーナー)、農家の四季コンテスト展示、農のある風景画展示、ジャンボ野菜の重さ当てクイズなど
- ※くわしくはチラシ(コミュニティセンター・市内JA各支店で配布、11日の新聞朝刊に折り込み)または市ホームページをご覧ください。

三鷹産野菜の宝船

地元の野菜で作った巨大な宝船は、五穀豊穡と人々の幸福を願う縁起物です。最終日には船を解体し、野菜を「宝分け」として無料配布します。

◆野菜の宝分け

◇引換券配布=12日午後0時30分から先着200人、13日午前9時から先着150人

◇野菜の配布=13日午後2時30分から
※引換券配布待ちの列が予定人数に達した場合は、配布開始時間を早める場合があります。



昨年の様子

市長コラム

にしみたか学園開園10周年!
未来へ続くコミュニティ・スクール

三鷹市長 清原慶子

三鷹市内では市民文化祭の真っ最中、「文化と学びの秋」たけなわです。

さて、10月26日、三鷹市立第二中学校の体育館で「にしみたか学園開園10周年記念式典」が行われました(写真)。「コミュニティ・スクール」を基盤とした小・中一貫教育の三鷹市での、そして全国での先駆けとして、平成18(2006)年4月に開園した「にしみたか学園」は、小学校と中学校の一貫したカリキュラムに基づき、教員は小学校と中学校を兼務し、第二小学校および井口小学校の児童と第二中学校の生徒との交流や、2つの小学校の児童の交流を通して、教室や体育館、校庭でも、子どもたちの笑顔が輝く教育実践を進めています。

「にしみたか学園」の開園後は、平成20年に「連雀学園」「東三鷹学園」「おおさわ学園」が、平成21年には「三鷹の森学園」「三鷹中央学園」「鷹南学園」が開園し、7つの学園が学力のみならず、人間力と社会力を高める教育実践を重ねています。

コミュニティ・スクールは、教職員、保護者、地域の皆様や専門家と構成される学校ごとの運営協議会と、学園ごとのコミュニティ・スクール委員会が一体となって、まさに「地域の学校」を生み出しているに違いありません。同時に、障がいのある子どもや要保護児童に寄り添う教育支援の充実も図られています。子どもたちは、家庭の中で育まれ、学校で適切な教育を受け、地域の皆様の見守りと授業や放課後での支援の実践によって、心も体も成長しています。「家庭」と「学校」と「地域」の教育が連携しているからこそ、三鷹市の子どもたちの学力が向上し、ボランティアや地域での活発な活動など、頼もしい成長が見られているのだと思います。

同じく10年前に施行された「三鷹市自治基本条例」に定められている「学校を核としたコミュニティづくり」がこれからも進んでいくことを願っています。スポーツや「文化と学びの秋」である今、皆様の学びや活動が、新しい自分の発見に結び付き、心に豊かさを増すことを願っています。



にしみたか学園開園10周年記念式典にて(右から2人目が市長)

市長のひとことコーナー

ケーブルテレビの広報番組「みる・みる・三鷹」では「市長のひとことコーナー」を放送しています(放送時間は12面参照)。